

令和3年度事業計画

《事業活動方針》

新型コロナウイルス感染症は未だ収束の気配を見せず、国内外との交流制限が続き、航空定期路線や高速バスの休止・減便などにより観光関連産業においては極めて深刻な影響を及ぼしています。

昨年度、当協会ではコロナ禍における「新しい生活様式」の中で、このような状況下でも実施可能な事業に挑戦してまいりました。その一つに国の補助事業を活用し、県内の主要な観光協会と連携した域内周遊型商品の造成やワーケーションの調査などアフターコロナに向けての準備を行ったところです。

このような中、令和3年度は、本市観光産業の再生と「新たな旅のスタイル」の普及・定着を図り、感染拡大防止策の徹底を大前提に、観光需要の回復を担う県内・九州域内を中心とした国内旅行の需要を強力に喚起してまいります。その上で、本市独自の「観光キャンペーン」の実施、滞在型観光を推進するための事業などに取り組み、国内外の観光客を惹きつける魅力的な滞在コンテンツ造成を推進いたします。

また、本市が有する「食」「スポーツ」「花」「神話」といった素晴らしい魅力をさらに全国にアピールし「青島」「一ツ葉」「ニシタチ」といった観光資源の磨き上げを行うとともに、東京2020オリンピック・パラリンピックの事前合宿やプロスポーツキャンプ等の機会を活用しながら、魅力の発信にも努めてまいります。

感染症の早期収束を願い、県、市はじめ周辺の観光地および観光協会と連携を図るとともに会員の皆様のご協力をいただきながら、今こそ観光業界の果たす役割の重要性を再認識し、一致団結してこの危機を乗り越え、宮崎の観光再生に取り組んでまいります。

《参考》

第35回国民文化祭・第20回全国障害者芸術文化祭	2021年7月 3日～10月17日
東京2020オリンピック	2021年7月21日～ 8月 8日
東京2020パラリンピック	2021年8月24日～ 9月 5日

各事業は、公益法人認定基準に準じ、事業グループ毎に分類。

公益目的事業

公1. 誘致活動事業

1. 観光客誘致拡大事業

令和元年まで増加傾向にあった本市の宿泊者数がコロナ禍で激減した中、復興として国内観光客の呼び戻し及び国内を中心とした積極的な誘客を図るため、継続的な旅行商品の造成と情報発信、旅行会社へのセールスが必要であり、航空会社や旅行会社とタイアップした誘客企画、効果的なセールスを実施するほか、旅行商品造成者やキーマンを招聘、さらには観光キャンペーンの実施を通して、ターゲットや時期を絞った継続した旅行商品の造成を行い、本市への観光誘客を図る。

また、主要旅行代理店及びキャリアと連携し集中送客キャンペーンに助成を行い、観光客の誘致拡大に努める。

県内・九州域内を中心とした宿泊需要を高めるような施策を展開し、消費拡大と宿泊効果に繋がる取り組みや情報発信に努め誘客を図る。

(1) 観光キャンペーン事業<新規>

新型コロナウイルス感染症拡大により、観光事業者のみならず地域経済のほぼ全分野において深刻な影響を受けている。この状況を打開すべく、本市の観光の魅力を全国に発信し、誘客に繋げ、本市地域経済の景気回復を図る。

昨年に引き続き、クーポン券付き宿泊キャンペーン及び宿泊者への特産品プレゼントを実施する。

(2) 県民宿泊者限定“サンキュー”キャンペーン事業<新規>

新型コロナウイルス感染症拡大により、甚大な影響を受けている観光関連事業者への経済対策として、関係機関と連携し、市内宿泊施設に宿泊した県民を対象にマンゴープレゼントのキャンペーン（宮崎県民宿泊者限定“サンキュー”キャンペーン）を実施し、本市への誘客を促進する。

(3) 国内観光誘客推進事業

2. 教育旅行支援事業

平成28年に発足した宮崎県教育旅行誘致推進協議会の会員と共に県内関係機関が一体となった「オールみやざき」で国内外の誘致受入事業を展開し教育旅行の誘致に努める。

教育旅行のニーズを捉えたプロモーションを展開し、宿泊・体験プログラムを通じ宿泊者数の増加を図る。

教育旅行への補助制度について、宮崎市内に宿泊された方、みやざき元気体験プログラムを利用された方を対象に補助を行う。

宿泊補助は、1人あたり2,000円、体験補助は、1人あたり3,000円

(1) 教育旅行推進事業

3. 観光情報発信事業

宮崎市の観光やグルメ、温泉、体験、イベント等の情報を旅行雑誌や新聞掲載、ビジョン広告等の各種媒体を通しての情報発信や効果的な観光プロモーションによる幅広い年齢層のPRを通して、宮崎への旅の動機づけを喚起させ誘客に努める。

観光客のニーズにあわせた効果的・効率的な手法として、ソーシャルメディアを活用した情報発信をさらに強化し、戦略的な観光誘客と観光客のニーズを捉えた効果的な事業展開を図る。

また、インバウンド誘客については、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催状況や航空会社等の動向を見て取り組む。

(1) 観光プロモーション推進事業

①メディアプロモーション事業

「豊かな食材」と「恵まれた自然」を中心とした本市の魅力ある観光資源や各種イベント情報など話題性のある旬の素材を、テレビ番組や新聞社などのメディアとタイアップし、マーケティングに基づき、ターゲットを絞り込んだ戦略で全国に発信し、さらなる誘客を促進するためのプロモーションを実施する。

また、プロ野球春季キャンプへの誘客を図るため関西エリアや首都圏で観光プロモーションを実施する。

②デジタルサイネージ等情報発信事業

市街地サイネージおよび宮崎ブーゲンビリア空港において、宮崎の観光情報やそのシーズンに応じたイベント等の告知看板を掲出し幅広く情報発信を行う。

(2) 観光魅力情報発信事業

①ホームページ・SNS情報発信事業

昨今、情報収集手段が、紙媒体からスマホを活用したWEBへ移行しているため、ソーシャルメディアを活用した効果的かつ有効的な情報発信に努める。令和元年度に当協会ホームページがリニューアルしたことから、マーケティングに基づく戦略で誘客増と観光消費額増につなげるため、観光客のニーズを的確に捉えた情報の拡散に努める。また、インバウンド向けのホームページを作成する。

②観光消費活性化事業

観光案内所をはじめ、観光・宿泊施設、観光客に配布する観光パンフレットやその他関連するパンフレットを作成し誘致宣伝に幅広く活用する。

(3) 宮崎で遊ぼうクーポン事業

本事業は、今年度で7年目の取り組みとなる。県内の各観光協会の協力で、現在では、42施設・約110種類のアクティビティを一つにまとめた観光商品となった。本商品をとおして観光客の周遊性・滞在性を向上させ、宿泊客数増に寄与する。また、時代のニーズにあった取り組みとして、WEB展開にも積極的に取り組む。

(4) インバウンド関連事業

インバウンド誘客推進事業

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により訪日外国人観光客の減少が著しい。台湾、韓国、香港などの現地旅行会社との関係を維持し、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催状況や航空会社等の動向を見ながら事業推進に努める。

4. 観光資源活性化事業

県内の観光地と連携を図りながら、本市の魅力ある観光資源を活用した事業や新たな観光素材の開発、幅広い観光客層をターゲットにした誘客事業を展開する。

神話の舞台となっている一ツ葉・青島をはじめ、日向神話の魅力を県内外に効果的に発信し、滞在型観光を推進、さらには宮崎ならではの「自然」「伝統」「文化」「食」等を取り入れた特色・魅力ある体験プログラムを提案、受入することで、観光客の誘致に努め、観光による地域振興に寄与する。

(1) 神話の魅力を生かした観光誘客推進事業<新規>

平成24年度から令和2年度の10年間取り組んだ「記紀編さん1300年記念事業」をベースに、神話のふるさと宮崎にしかできない神話の魅力発信や神話を素材とした観光誘客を図る。また、青島を中心とした神話の多言語解説整備にも努める。

(2) 体験プログラム受入事業

(3) 宮崎県内観光協会6団体合同観光素材開発・宿泊応援事業

5. 広報宣伝活動事業

宮崎への誘客を図るため、各地で開催される祭りの参加や本市の「自然」や「イベント」「食」「文化」などの誘客素材を取り入れた観光宣伝物（観光ポスター、ペーパーバッグ、観光カレンダー等）の作成、さらには、宮崎の魅力ある景観を素材にした観光名刺の販売、各種イベントを記載した機関紙等の配布等、様々なツールを活用し、宮崎の観光情報を全国に発信し誘客活動を行う。

令和3年度は第36代サンシャインレディの選考の年であるが、コロナ禍において派遣回数減少などにより令和4年度に向け選考委員会を実施する。

(1) 宮崎サンシャインレディ観光PR事業

観光客の誘客を促進するため、観光宮崎の親善使節として県内外での観光宣伝、各種大会、イベント等の歓迎行事に参加し、宮崎を幅広くPRする。今年度は、次年度に向け第36代宮崎サンシャインレディの選考委員会を開催する。

(2) 観光宣伝ツール製作事業

ポスター、ペーパーバッグ、カレンダー、ミッシちゃんのグッズを製作・販売。

当協会のポスターやペーパーバッグは、イベント等の様々な場面において活用されているが、さらなるイメージアップを図るため、多様性のあるツールとして幅広く誘致宣伝に活用し、本市の魅力ある観光情報を国内外に発信する。

(3) 宣伝物販促事業

当協会で作成する宣伝ツールを、様々な場面において効果的に活用してもらうためのプロモーションを行う。

(4) 観光名刺印刷・販売

(5) 機関紙「Mコミュニケーション」の発行

会員との連携を図るツールとして機関紙を発行。

(6) まつり交流事業

まつりPR事業 姉妹都市交流事業

6. 国内外観光交流事業

中国山東省青島市文化と旅游局及び（一社）旭川観光コンベンション協会、（一社）檜原市観光協会との交流事業を実施し、本市の観光情報の発信はもとより、国内外からの観光誘客に努めるとともに地域経済の発展に寄与していく。

(1) 海外他友好都市交流事業

(2) 観光団交流事業

（一社）旭川観光コンベンション協会とは、各年で訪問交流を行っている。昨年度は、11月に旭川より来宮予定であったがコロナ禍で中止となったため、今年度に延期。

公2. 観光客受入体制関連事業

1. 観光客受入事業

国内観光客やインバウンド観光客に対し、観光案内等の各種サービスを提供し、周辺の観光地や施設との連携を図りながら利便性や周遊性の向上に努める。また、受入体制の充実を図るため、観光関係者向けに資質向上、スキルアップを目指した研修会等も開催する。

また、コロナ禍で観光入込客数が減少する中、滞在型旅行の促進を図るため、「宮崎での快適な生活」を体験できる独自のワーケーションモデルを構築し、モニターツアーやコワーキングスペースの利用者支援を行うなど、全国に先駆けてワーケーション事業を積極的に展開する。

(1) 宮崎でのんびりSTAY事業<新規>

コロナ禍で出張旅行者やMICEが激減している状況から、新たな国内観光の需要喚起に取り組む。宮崎には自然環境を活用したゴルフやサーフィン等、多様なアクティビティが存在する。本市の魅力を生かし、時代のニーズに即した滞在型旅行の新たなモデルとして、独自のワーケーションモデルを構築し環境を整備し、宮崎市での仕事の価値創造に繋げる。モニターツアーの実施などを通し国内の動向と市場のニーズを把握しながら、受入環境の充実とコワーキングスペースなどの利用促進にも努める。

(2) 観光インフォメーション管理運営事業

宮崎市観光案内所

令和2年10月に観光案内所がリニューアルした。さらなる観光案内所の機能充実を図るため、観光客にとって快適でやさしい環境と空間の中で各種サービスの拡充と物販に努める。

また、宮崎駅東口（大和口）に24時間利用可能なコインロッカーを設置したことにより、国内外の観光客の受入体制も充実してきたことから、観光案内所の広報を強化する。

スタッフのスキルアップを図るため各種研修会にも参加しサービスの向上に努める。

(3) 観光従事者研修会

(4) 渚の交番整備・運営事業

(5) レンタサイクル事業

観光案内所のリニューアルに伴い、令和2年10月にサイクルポートを宮崎駅東口（大和口）に移設した。

観光客や宮崎駅利用者の利便性が高まったことから、さらなる回遊性の向上に努める。

(6) 神話・観光ガイド支援事業

おもてなしボランティア事業 青島インフォメーション管理運営事業

2. 観光イベント推進事業

観光客をターゲットに、南国ムードを生かした、魅力ある宮崎の観光資源を活用したイベントの開催や新たな誘客素材の掘り起こしと開発を行う。他のプロモーション事業とも連携を図り、具体的な誘客に繋がる仕組みを構築し事業の展開を図る。また、新たな観光資源の開発や各種観光行事等の主催団体に対して、補助金等の助成を行い、地域活性化に努める。

(1) フライイベント推進事業

宮崎市の推進する「フラのメッカ宮崎」のイメージ定着を図るため、宮崎を訪れる観光客等に対して、イベント会場や観光地等の様々な場所において、フラを素材とした賑わいの創出とフラによるおもてなしを実施し、宮崎の好印象付けを図る。また、フラを通じた県外からの観光誘客を図るための情報発信にも努める。

(2) 新規事業開発事業

新しい生活様式に即した本市の観光産業の推進や新たな観光素材の掘り起こしをおこなう。

協会会員企業の商品を販売拡大が図れるように、当協会ホームページ内でECサイト運営を目指し、サイト立ち上げのための検証を行う。当協会会員の商品が購入できる環境を整える。また、みやざきの食をツールに誘客イベントやコロナ禍で新しい生活様式に即した情報発信とプロモーションに努める。

(3) みやざきグルメとランタンナイト開催支援事業

(4) みやざき青島国際ビールまつり

(5) 行事負担金

(6) みやざきふるさと食材アピール事業

3. スポーツ観光受入事業

プロ野球やＪリーグなどの宮崎キャンプ期間中、円滑なキャンプ受入環境を整備し、宮崎キャンプの継続実施を図る。

キャンプ観戦の観光客の周遊性や利便性の向上に努め、渋滞等の対策緩和のため交通体制の整備、観光客の満足度を高める取り組みを行う。また、宮崎市内各所で、歓迎ムードを高め、賑わい創出に努める。

さらなる「スポーツランドみやざき」のPRに努め、プロ野球３球団連携事業など本市でしかない取り組みを行い、本市のイメージアップを図る。

(1) キャンプ受入事業

①スポーツイベント 新型コロナウイルス感染症対策事業<新規>

宮崎市内で実施されるプロ野球およびＪリーグの春季キャンプは県内外から多くのファンが来場し、「スポーツランドみやざき」の発信に寄与している。新型コロナウイルスの収束が見通せない状況においてキャンプを実施するチームや来場者に対して感染拡大を防止し、安心・安全なキャンプ地づくりを行い、「スポーツランドみやざき」のさらなる推進を図る。

②プロ野球３球団連携事業

１市で３球団がキャンプを行うのは全国的にも本市だけである。宮崎キャンプの話題性と３球団のキャンプ地の周遊性の向上と誘客効果を高めるコンテンツとし、３球団連携ロゴマークの入ったグッズ製作を通して、県内外からのキャンプ来場者の増加を図る。キャンプ期間中は、３球団連携のユニフォームを着用するなど、街全体で盛り上げムードを創出。更なる「スポーツランドみやざき」への集客を通し、観光振興を推進する。

(2) スポーツ等合宿・大会誘致受入事業

スポーツ等合宿団体受入支援事業<新規>

本市で合宿するプロ・アマスポーツ団体が継続的に合宿を実施してもらえるよう宮崎牛の贈呈や宿泊補助を行う。さらには新たな団体の誘致を強化し、スポーツランドみやざきのさらなる推進に努め、地域経済の活性化を図る。

(3) みやざきゴルフパラダイス事業

１１月に開催される「ダンロップフェニックストーナメント」「JLPGAツアーチャンピオンシップリコーカップ」の２大トーナメント、３月に開催される「アクサレディスゴルフトーナメント」など各トーナメントと連携しながら「宮崎＝ゴルフ」のイメージアップを図る。

宮崎市のゴルフ環境の良さを国内外にアピールするとともに、新たなゴルフ客向けの宮崎ブランドを構築しゴルフ客の増加に繋がる施策を展開。トーナメント会場や各ゴルフ場のPR、イベントの開催をはじめ、ゴルフバックなど旅行商品の造成を行う等、様々な誘客に努める。ゴルフを通して、スポーツランドみやざきの推進と、閑散期の誘客策に取り組む。

(4) プロ野球公式戦開催支援事業<新規>

本市でキャンプを行う福岡ソフトバンクホークスの主催試合が、人気企画の「鷹の祭典」として開催される。県外からの誘客に繋がるため本公式戦への支援を行う。

カード：福岡ソフトバンクホークス VS 東北楽天ゴールデンイーグルス

期 日：令和３年８月３１日

場 所：ひなたサンマリスタジアム宮崎

(5) 観光スポーツイベント歓迎装飾事業

4. スポーツ観光セールス事業

宮崎でキャンプを行うプロ野球やＪリーグチームの本拠地においてキャンプ地宮崎のPR及び宮崎への誘客を図る。また、旅行会社やスポーツ団体等に対して、宮崎が全国に誇るスポーツ施設について、全国有数の日照時間・温暖な気候などの恵まれたスポーツ環境や支援・受入体制をセールスし、本市への誘致と受入に努める。

(1) キャンプ地みやざきスペシャルマッチ事業 (Jリーグ)

(2) みやざきスペシャルゲーム開催事業

①京セラドーム大阪<新型コロナウイルス感染症拡大防止のため5月29日より日程変更>

宮崎市のスポンサーゲームと宮崎市内の企業団体がキャンプ地宮崎シリーズとして合同で2試合を開催予定。2日間でオリックス球団への表敬訪問や観光プロモーション、メディアとタイアップしたプロモーションを実施。

カード:オリックス・バファローズ VS 東北楽天ゴールデンイーグルス

期日:令和3年7月6日 ※ナイター

※7月7日はキャンプ地宮崎応援隊が実施予定。

②東京ドーム<新型コロナウイルス感染症拡大防止のため6月5日より日程変更>

球団への表敬訪問や宮崎市観光PRを実施。

カード:読売ジャイアンツ VS 広島東洋カープ

期日:令和3年7月1日 ※ナイター

③福岡PayPayドーム

<新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止(今後については未定)>

6月18日・19日・20日の3試合をホークス球団が中心となり、「みやざきスペシャルDAYS」として開催。

宮崎市のスポンサーゲームは1試合。球団への表敬や宮崎観光PRを実施。

カード:福岡ソフトバンクホークス VS 北海道日本ハムファイターズ

期日:令和3年6月19日 ※デーゲーム

(3) スポーツランド情報発信事業

(4) スポーツセールス事業

5. 少年少女スポーツ大会支援事業

少年少女たちが、野球やゴルフのスポーツ大会を通じてスポーツ交歓や交流を図るほか、未来を担う子どもたちの健全な育成及びスポーツ振興に寄与することを目的に、ジュニアスポーツ大会の開催及び支援を行う。

(1) みやざきフェニックス・リーグ杯サマーベースボールトーナメント (少年少女野球大会)

第17回みやざきフェニックス・リーグ杯サマーベースボールトーナメント

(2) ゴルフパラダイス観光推進事業

収益目的事業

収1. 宮崎ブランド商品魅力発信事業 <新規>

長引くコロナ禍により、本市の観光業界は宿泊・交通・飲食・物販を中心に売り上げが大きく落ち込んでいることから、新しい生活様式の中で、本市のお土産品や物販等の販売を行い、地域の魅力発信に努める。

当協会会員等から新商品開発のリクエストがあれば、宮崎市の新商品として開発・販売を積極的に促進し会員との連携強化を図る。

収2. プロ野球公式戦・オープン戦等開催事業

1. プロ野球オープン戦等開催業務

法人会計

1. 会議の開催
総務企画委員会、理事会、監事会、定時総会等
2. 観光功労者の表彰
3. 会員管理・交流
会員とのコミュニケーションをスムーズに行うために、メールを活用し情報の共有に努める。
4. 職員研修
5. 健康宣言の取り組みと健康経営の取り組み
令和3年3月に「健康経営優良法人2021」の認定を受けたため、健康経営をとおして職員の健康への意識を高めるとともに当協会のイメージアップを図る。
6. 職員の働きやすい環境づくりの構築

その他関連事業（協力会等）

1. 球春みやざきベースボールゲームズ実行委員会
既存キャンプ1軍球団のキャンプ継続及び期間の長期化、キャンプ期間の実戦形式の練習環境の充実を図り、経済効果を高め、他県でキャンプを張るチームへも宮崎での練習試合の開催を呼び掛け参加の依頼を行い、自治体及び団体で構成される「球春みやざきベースボールゲームズ実行委員会」を構成し開催する。
2. 読売巨人軍宮崎協力会
3. 福岡ソフトバンクホークス宮崎協力会
4. オリックス・バファローズ宮崎協力会
5. Jリーグ等宮崎協力会
6. みやざきフェニックス・リーグ支援実行委員会
7. 渚の交番青島プロジェクト実行委員会
 - (1) 青島ビーチセンター指定管理業務
指定管理期間：令和2年4月1日～令和5年5月31日（3年間）
 - ①青島海水浴場管理運營業務
期 間：令和3年7月3日～8月29日
場 所：青島海水浴場
 - ②青島ビーチ魅力アップ事業
青島ビーチパークの開設
期 間：令和3年7月3日～9月26日（プレオープン期間：令和3年7月1日～2日）
場 所：青島海水浴場 渚の交番東側公園内